

# 水害を知り・備える

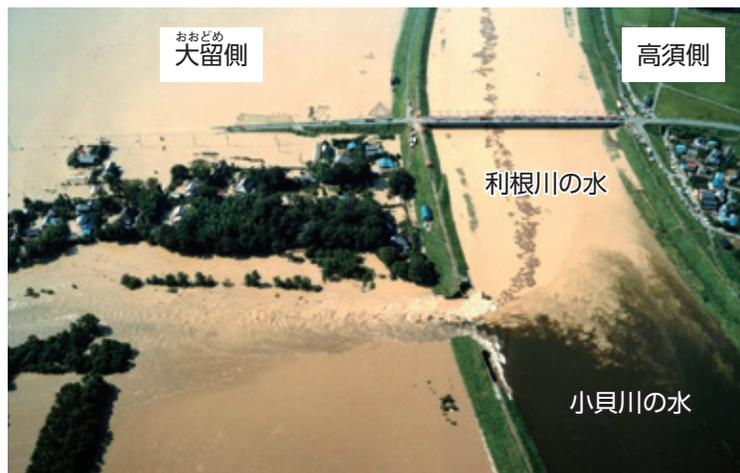
全国各地で発生している水による災害に対して、取手市も他人ごとではられません。この特集では40年前に発生した小貝川の水害被害から学び、発生してからはもちろん、平常時から一人一人ができる対策について紹介します。

☎ 安全安心対策課 ☎ 内線 1183



▶ 特集を動画で公開

昭和56年の水害体験や、個人や地域が自分の命を守るためにはどうしたらよいかをまとめています。



▲写真右下の黒い水は、本来流れている小貝川の水です。そこに、利根川の茶色く濁った水が下流（写真上）から、木などのごみと一緒に流れ込みました。

## 40年前に起きた小貝川の決壊

昭和56年8月24日2時12分

高須橋上流200mの堤防が切れ、大留地区に甚大な被害をもたらしました。

前日までの台風で利根川上流に雨が降り、溢れた水が利根川の支流の小貝川に流れ込む現象が発生したことが原因です。小貝川を含む関東の平野部の総雨量は50mmから100mm程度だったため、小貝川の水位は一度は下がりました。しかし、利根川上流の総雨量は30時間足らずで300mmから500mmに達し、逆流してきた水量に、小貝川の堤防が耐えられず決壊しました。



◀ 堤防まで人や家財道具を船で運び出す様子。過去に水害を経験した家のほとんどが船を常備していました。



決壊当時の映像を見ることができます  
(茨城県作成)

## 後世に知らせたい過去の経験

木村宗保さん（高須在住）



「まさか」堤防が切れて、その水が自分の家の周りに来るとは、自分も周りの人も思っていませんでした。夜間、当時の建設省出張所で水位を観察していた時に決壊の知らせを受け、急いで家へ戻りました。家の脇を濁流が流れ、敷地に流れ込むさまを目の当たりにし、恐怖で何をするか・何をもち出すか、冷静な判断ができませんでした。この地域に住むということは、水害と隣り合わせであることを、孫をはじめとした後世に伝えていきたいと思っています。

## 水害対策

昭和56年に堤防が決壊した後、利根川下流河川事務所では迅速に堤防を復旧しました。その後、平成7年までの工事で以前の堤防より幅や高さを大きくし、利根川の水が逆流する可能性もあることから、小貝川の約10倍の水量が流れる利根川の堤防とほぼ同じ大きさの堤防としました。川側にはコンクリートブロックで、堤防が壊れないよう強度を増しました。



川に面した部分



堤防上

## 個々の備えで減災を

山口広さん（国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所 地域防災調整官）



利根川下流河川事務所は、利根川だけでなく支流の小貝川の一部も管轄し、堤防の強化やモニターによる河川の監視を行っています。減災対策のため、地域防災調整官として市町村との協議や、自治会などに河川に関する啓発をしています。

最近「マイ・タイムライン※」への意識が高まっています。避難先までかかる時間を事前に知ること、災害時に冷静に避難行動を取ることができます。減災のためには、個人の準備も重要です。

※マイ・タイムラインとは避難するまでの防災行動計画です。災害が発生しようとしている時、自分がすべき行動を時系列にして整理しておきます。

## 地域で地域を守る「共助」

共助とは、災害時に近所や地域の人と助け合うことです。危険が迫る中、声掛けなどすぐに対応できるのは、近所の人です。その役割を主に担っている組織が、地域の自主防災組織です。

### ■自主防災組織とは

救助・初期消火・自力で避難できない方（避難行動要支援者）の避難支援など、身近な地域でできることを行い、地域の被害を減らす活動を行います。市内には90の組織があり、平常時には、定期的な訓練や防災知識の啓発などに取り組んでいます。

### ▶活動事例

避難訓練、地域別ハザードマップの作成、避難行動要支援者の避難支援

### ■自主防災会の結成や運営に対し市や県は支援しています

- ・組織の結成時に必要な資機材の購入に対する経費
- ・年間の運営に必要な経費

## 被害を出さないために 地域ができること

杉田修さん（南町自主防災会会長）



町内会員に水害時の避難に関する調査を行った結果、市の定める避難所ではない場所を避難所と勘違いしている人が多いことが分かりました。この藤代南地区は約20年前の再開発でできた新しい町のため、小貝川の決壊を知る人はほとんどいません。そのため「ここは大丈夫」と、災害は他人ごとになってしまい、被害に遭う人が出てしまうのではと危機感を持っています。

地域の人に災害を自分ごとと捉えてもらえるには、また、いざという時に自主防災会は何ができるのか、常に考えています。災害が起きようとする際には役員が住民に避難の声掛けを行い、被害に遭う人が出ないように体制を整えていきます。